

令和6年度（2024年度）第4回長房中学校区地域づくり推進会議
及び長房の未来をつくる会 議事概要

日時	令和6年（2024年）12月14日（土）9:30～11:30
場所	長房小学校 1階 プレイルーム
出席者	参加者：縣、高坂、清水、鈴木、中嶋、西山、本堂、野副、森、森本、山陰、石塚、村上、カシム・ベレカ、富加津、木村 高齢者あんしん相談センター長房：古座野 シルバーふらっと相談室長房：光富 市地域づくり担当：伊東、松崎、松下、和田 浅川市民事務所：高野
配布資料	・資料1 役員会での議論の共有 ・資料2 取組の報告

1 開会

事務局より挨拶、資料確認。

2 事務局からの報告

(1) 11/15 八王子市地域共創アイデアソンについて

<説明内容>

- ・ 11/15（金）に東京たま未来メッセで八王子市地域共創アイデアソンを開催した。
- ・ 参加者は、各推進会議の代表者・学生・民間企業・市職員で合計29名。最年少19歳から最年長70歳まで、幅広く、多くの方にご参加いただいた。
- ・ イベントの内容は、市が用意した八王子の地域づくりに関する3つの課題から1つを選び、課題解決のアイデアを話合うというもの。
- ・ 話合った内容をグループ毎に発表し、共感ポイント（「いいね！」の数）で投票のうえ、順位付けを行った。
- ・ 1位のアイデアは、「若い世代が生まれ育った地域に戻ってくるためのアイデア」として提案された「はちプロに、おれはなる！BINGO」というもの。地域の名所や祭りなどの文化体験が盛り込まれたビンゴカードを出生届時に配付し、それをコンプリートすることで楽しく八王子の魅力を学ぶことができ、地域に愛着を持つ若者を増やすアイデア。
- ・ 実施内容の詳細については、後日市HPに掲載する。

(2) 八王子市地域づくり推進基本方針改定について

<説明内容>

- ・ 地域づくり推進基本方針の改定に関して、10月1日～10月31の期間でパブリックコメントを実施した。
- ・ 4名から合計10件のご意見をいただいた。主な意見としては、地域の課題解決に努める活動には賛成する意見や、地域づくりの3原則に関する意見、プラットフォームに関する意見など。
- ・ ご意見とそれに対する市の考えは、市HPで公開している。

- ・ 今後のスケジュールとしては、1月中旬に第7回懇談会を開催し、3月に改定版基本方針を公表する。

(3) 役員会での議論の共有

資料1「役員会での議論の共有」をもとに10月以降の役員会での議論の内容の共有を行った。

<説明内容>

- ・ 市が設置している6つの推進会議の中で、長房はモデル地区として先頭で取組を行い、試行錯誤を行いつつ、今年度は推進会議と活動団体である長房の未来をつくる会の2つに分けて活動してきた。
- ・ 10月以降の役員会では、来年度以降の会の運営や活動の話合いを行っていく中で、これまでの活動を振り返り、「できること」「できないこと」「無理すればできること、けど継続するのは難しいこと」等を話合ってきたので、その内容を共有する。
- ・ 第1回(10/22)では、推進会議の現状について率直な意見交換を行い、総じて、地域づくりの趣旨や取組の必要性については理解できるが、続けていくことの難しさや活動に関する負担感に関する意見が多く出てきた。
- ・ 第2回(11/13)では、推進会議の運営に焦点を絞り、4つの問いを設けて話合いを行った。
- ・ 共有できた点は以下のとおり
 - 話合いの場は必要だが、やり方は変えていかななくてはいけない。
 - イベントをベースにした“つながりづくり”は出来始めているので、そのつながりを生かしつつ地域の課題解決や困りごとの解決に向けて話合いができるといい。
 - そのために、今の参加者に限らず、関わってくれる人を増やしていかななくてはならない。
- ・ 第3回(12/3)では、来年度の地域づくりの体制について話合いを行った。
- ・ 今年度、長房の未来をつくる会を立ち上げて活動を行ってきたが、そうしたことで推進会議の役割が薄れて来ている部分がある。一方で、長房の未来をつくる会では徐々に活動を行えるようになってきている状況があり、そうした中で、長房の未来をつくる会をベースにして、推進会議で行っていた“情報共有の時間”を設けて活動を行っていけないかというもの。
- ・ 今後のスケジュールとしては、来年の4月に長房の未来をつくる会の総会をやることになるので、それまでの間に役員会を中心に今後も議論を継続していく予定。
- ・ ご意見等ある方は、是非、役員会に参加いただきたい。

(4) 他地区の事例の共有

南大沢中学校区推進会議の参加者が、南大沢中の学運協の方から学校の授業で地域づくりの取組を紹介してほしいと依頼されて作成した地域づくりに関するスライドを紹介した。

<質疑応答>

- ・ その他に推進会議の具体的な活動として共有していただける事例はあるか。
 - ⇒南大沢中学校区では、夏祭りの開催について人手不足の課題があり、先日の推進会議で共有したところ、手伝いをしてくれる人が出てくるなど、少しずつ取組を進めているところ。
 - ⇒人手不足という点については、長房も同様の状況。推進会議を立ち上げるにあたり、活動

を行える人材がどのくらいいるのかといったアンケート調査を行ったりした方がいいのではないか。

⇒人手不足ということ言えば、地域活動をすると地域ポイントがもらえるようなことも考えていってはどうか。

⇒（市）そういったご意見をいただきながら進めていきたい。

3 取組の報告と情報共有

みんなの食堂について

- ・ 今年度、第2回（9/21）及び第3回（11/9）の「みんなの食堂」を開催した。
- ・ 第2回は、長房学童の児童・生徒と保護者の合計37名の方に参加いただいた。第3回は、船田学童の児童・生徒と保護者の合計22名の方に参加いただいた。
- ・ 来年は1/18に長房学童を対象に行う予定。
- ・ 前年度、長房学童を対象とした取組として始まり、今年度は、船田学童も対象にして行うことができた。来年度の方向性については今後検討予定。

キャリア教育について

- ・ 10/19の学校公開日に3・4時間目を使って、6年生と特別学級の生徒を対象にキャリア教育の講義を行った。
- ・ 3時間目は、株式会社ブリヂストンの清水さんに研究者の仕事の話やゴムの特性の話をしていただいた。4時間目は、有限会社バーゼル洋菓子店の長部さんにケーキ屋さんの仕事の話やケーキ作りの話をさせていただき、実演いただきながらケーキ作りを行った。
- ・ 次回は1/25の学校公開日に開催予定。

はちゃめちゃハロウィン大冒険

- ・ 10/26に中舟田公園、中郷児童館、コピオ長房を会場にハロウィンイベントを開催した。
- ・ 来場者数は約880名で、昨年度に比べて180名ほど増えた。
- ・ 成果としては、新たに船田町会を含めた多くの団体の方に協力いただけたこと。約50名の大学生にも参加いただき、世代間の交流も作り出せた。
- ・ 課題としては、従事者が高齢者に偏りがちなので、新たな担い手の創出をしていかななくてはならないことや依然として取組が長房全域の町会には広がってはいないこと。
- ・ 一方で、当初は団地に住む高齢者の外出の機会につながればと考えて始めたイベントだが、規模が大きくなり、当初の目的とは変わったものになってきている。当初の目的との乖離についても今後検討していきたい。

第3回 ここから Smile FES

- ・ 12/7に陵南公園で第3回 ここから Smile FESを開催した。
- ・ 例年4月に開催しているが、今回は会場の都合もあり12月の開催となった。
- ・ 長房の未来をつくる会では、活動を周知するためのブースを設け、チラシの配布やどんぐり笛づくり、輪投げを用意し、多くの方にご覧いただけた。

- ・ 次年度の予定は未定のため、長房の未来をつくる会で行っているハロウィンイベントの中で開催していくことも検討していきたい。

えいご de クリスマス

- ・ 本日、コピオ長房で小学生以下の子どもを対象としたクリスマスのイベントを開催している。
- ・ 内容としては、クリスマスに因んだ英語の絵本の読み聞かせやゲームを行うというもの。
- ・ 詳細については、次回の推進会議で報告する。

長房の未来をつくる会の HP を作成

- ・ 前回は報告したが、長房の未来をつくる会の HP を作成したので、興味のある方は QR コードからご確認いただきたい。
- ・ 今後インターネットのウェブ検索でも閲覧できるようにしていく予定。

4 情報共有の時間

スマホの講習会について

- ・ 最近、飲食店等でスマホで QR コードを読み込み、そこから注文する店なども増えてきて、使い方がわからなくて困る場面がある。そういう人のためのスマホの使い方講習会等は地域でやっていないか。
⇒高齢者サロンでスマホ相談会を行っている。講習会というかたちで、参加者に一律の操作方法を教えるより、各々が困っていることについて、個別具体的な相談を受けるかたちの方が高齢者からの評判がいい。
⇒高齢者安心相談センターでは、今年度、法政大学の学生に来ていただき、個別に相談を受けるかたちで行っている。次回は2月に開催予定。
⇒はちまるでも、スマホの相談会を行っているが、相談会で個別具体的な操作方法を聞けなかった方が、別日に窓口で相談に来たりもする。そのようなかたちで相談に来ていただいても構わない。

船田町会の HP とのリンクについて

- ・ 船田町会でも HP を作成している。それを長房の未来をつくる会とリンクさせることもいいのではないか。
⇒町会の方でも相談してみる。

LINE の公式アカウントの作成について

- ・ 長房の未来をつくる会で、LINE の公式アカウントを作成することはできないか。LINE であれば受動的に情報が送られてくるので見てもらえると思う。
⇒任意団体のアカウントについては、無料で送信できるメッセージの通数が決まっており、それを超えると費用が掛かるものになっているので、その辺が懸念点。現状は、無料で利用できるインスタ等の SNS を使っている。
- ・ 八王子市の公式 LINE の運用はどんな感じか。

⇒（市）興味のある情報を選択する項目があり、例えば子育ての項目を選択すると、選択した項目に関わる情報が送られてくるような仕様になっている。費用については、後日確認する。

その他

- ・ やりたいことはたくさんあるが、そのための人的なりソースが地域に無いことが課題。日常の仕事と並行して行うとなると難しい。
⇒誰でも使える仕様にしていかないと引き継ぐこともできないので、そこも課題。
- ・ 長房の未来をつくる会のチラシを作成したので、欲しい方がいたら会長に声をかけていただきたい。

5 長房の未来をつくる会 取組の打合せ等

議事概要については、長房の未来をつくる会で別途作成。

6 閉会

以上